

様式例 1 0 指定管理者制度活用事業 評価シート

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	富士見公園南側(川崎富士見球場他)	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 川崎フロンターレ・東急コミュニティー共同事業体 ・代表者名 代表取締役社長 藁科 義弘(川崎フ) 取締役社長 雑賀 克英(東急) ・住所 川崎市高津区末長四丁目8番52号(川崎フ) 東京都世田谷区用賀四丁目10番1号(東急)	評価者	みどりの企画管理課長
指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課

2. 事業実績

利用実績	【富士通スタジアム川崎】利用者数:81,105人、観客数:115,825人、平均利用率70.4% (平成27年度:利用者数85,998人、観客数84,576人、平均利用率68%) 【かわQホール】利用者数:55,267人、平均利用率31.8% (平成27年度:利用者数56,312人、平均利用率27%) 【富士見球場】利用者数8,240人、平均利用率78.4%(平成27年度:利用者数9,100人、平均利用率73%) 【駐車場】精算台数41,664台(第1駐車場19,395台、第2駐車場22,269台) (平成27年度:精算台数41,754台(第1駐車場19,479台、第2駐車場22,275台)) 【はぐくみの里】来場者数6,732人(平成27年度:来場者数9,590人)	
収支実績	<平成28年度の収入> 利用料金(富士通スタジアム川崎) 82,634千円 利用料金(富士見球場) 414千円 利用料金(かわQホール) 5,291千円 利用料金(駐車場) 81,398千円 その他 2,578千円 自主事業 9,340千円 計 181,655千円	<平成27年度の収入> 82,182千円 409千円 2,201千円 76,898千円 1,780千円 8,587千円 172,057千円
	<平成28年度の支出> 維持管理運営費用等 126,212千円 自主事業 1,492千円 計 127,704千円	<平成27年度の支出> 114,684千円 2,332千円 117,016千円
	<平成28年度の収支差額> 53,951千円	<平成27年度の収支差額> 55,041千円
サービス向上の取組	・各施設の平日午前中の利用率向上に向けて、様々なイベントを企画、実施するほか、大学や高校等への利用促進を行い、利用率の向上を図っている。 ・今まで他会場で開催されていたアマムの「社会人Xリーグセミファイナル」を招致することができた。また、アマム団体や地元商店街等と連携し、「アマム屋台村」を実施し、近隣4万世帯へ折り込みチラシを配布するなど、多くの市民が来場した。 ・自主事業として、「10・19を中心に川崎球場の歴史を振り返る」を実施し、全国各地から1,000人以上来場者があり、展示品の拡大展示やトークショーなどの企画を展開した。テレビなどのメディアでも紹介され、川崎市や施設の認知度、魅力アップに貢献した。 ・アルティメットやフクロス、高校サッカーなどの大規模大会を招致するほか、ACミランやFCバルセロナのキャンプの招致に成功するなど、指定管理者の強みが発揮され、質の高い企画を実施することで市民への還元を図った。 ・施設維持管理、設備点検、緑地管理、園内清掃、樹木管理や巡視等を適切に行い、利用者が安心・安全に利用できる環境づくりに努めた。	

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	1 利用者満足度調査を適切に実施しているか	10	4	8
		2 利用者満足度は向上しているか			
3 調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか					
	(評価の理由)	(1) 各イベント等の利用者からアンケートを実施、施設や公園内の管理状況等について満足以上との評価を82.9%得ている。昨年度より実施数を増やしているが、さらに幅広い意見の収集が必要である。 (2、3) 利用者満足度の向上においては、指定管理者の得意とするイベントの内容に対しての好評な声があり、「子供の頃から川崎球場にきていたため、懐かしく、楽しいです。ずっと続けてください。」との意見があった。また、職員対応について満足以上との評価を84%、施設運営について利用しやすくなったとの評価が77%となり、概ね高い評価となっている。調査結果を分析し、次年度に向けて取り組む予定である。			
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	4 計画に基づく適正な支出が行われているか	8	4	6.4
		5 支出に見合う効果は得られているか			
		6 効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	7 計画通りの収入が得られているか	6	4	4.8
		8 収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	9 収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	4	3.2
10 事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
	(評価の理由)	(4～8) 大学等への周知によるフクロス等の定期的な利用や、自主事業のサッカースクールやクリニックなどの利用が好調となり、計画以上の収益を上げた。広報業務などは社内対応し、電力会社を変更するなどして経費の削減をしつつ、委託料や維持管理等の必要な項目については適切に支出を行い、業務改善・サービス向上を図った。 (9、10) 本社経理部と現場の指定管理者の役割を分けるなど、金銭管理や会計手続を問題なく適切に行った。また、第三者評価を通じて金銭管理等についてチェックを受けている。			

サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	11 提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	5	6
		12 サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		13 利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	利用者の意見・要望への対応	14 利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	3	4.8
		15 意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
		16 利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
	業務改善によるサービス向上	17 実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	6	4	4.8
		18 業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		19 業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	提案事業・自主事業の実施状況	20 施設利用者へのサービス向上及び利用促進につながる提案事業・自主事業を実施しているか	8	4	6.4
21 施設利用者のニーズを踏まえた提案事業・自主事業を実施しているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>(11、12)事務所に設置してある川崎球場から富士通スタジアム川崎に至る歴史を展示したギャラリーコーナーには、全国から足を運ぶファンがおり、自主事業として「川崎球場の歴史を振り返る」イベントを開催した際は、1,000人以上の来場があった。テレビなどのメディアに取り上げられるなど、川崎市や施設の認知度、魅力アップに貢献した。</p> <p>(11、12、13)本市事業の「アメフトを活用したまちづくり」への寄与として、アメリカンフットボールの社会人日本一を決する大会の準決勝を富士通スタジアム川崎に招致することに尽力し、多くの来場者を集めるほか、地元商店街と連携して試合会場周辺で多数の屋台を出店させて「アメフト屋台村」という空間を創造し、地域住民へ広報しアメフト観戦者だけでなく、地域住民が富士通スタジアム川崎を訪れ施設の認知向上に努めるなどアメリカンフットボールを活用したまちづくりという、市の施策の推進に積極的に貢献した。</p> <p>(14、21)提案事業・自主事業については、指定管理者のネットワークを活かし富士通運動部の協力を得て、「オリンピックが教える陸上教室」や「富士通スタジアム川崎スポーツフェスタ」を実施し、トップアスリートから直接教わる機会を設けた。スポーツフェスタでは、子供向けのほかに大人向け教室も開催し、遊具を設置して未就学児が楽しめるようにも工夫した。運営補助や受付などは障害者の方々の就労体験の機会を提供するなど、幅広い対象に配慮したイベントを実施した。</p> <p>(15、16)意見・要望の収集については、昨年度よりアンケートの実施数を増やしたが、より幅広い意見の収集を行う上で、実施数の拡充や自由回答欄を設けること、対面式以外の収集方法の検討などを行う必要がある。</p> <p>(17、18、19)業務改善によるサービス向上について、第三者評価を実施し現状分析を行うほか、利用者アンケートを実施した。第三者評価やアンケート結果を元に、次年度以降に具体的な取組を行う予定である。</p> <p>(18、19)各施設の平日午前中の利用率向上に向けて、大学の学生アメフトや学生ラクロスチーム、高校サッカー部などへの利用促進を行い、利用率の向上を図った。</p> <p>(20)昨年度も実施した「Xリーグトーナメント」の会場を川崎ルフロンに変更し、アメフトに馴染みの無かった層への訴求を行った。また、過去30年間他会場で開催されていた「関東学生ラクロスリーグ戦開会式、開幕戦」の招致し、関東の大学ラクロス部員4,940人を集め、試合後には、ラクロス協会と共催で「ラクロスファミリーデー」を開催した。</p> <p>(20)市危機管理室、川崎区役所などと共催で「親子ふれあいキャンプin富士通スタジアム川崎」を開催し、疑似避難生活体験や防災教室、交通安全教室などを実施した。</p> <p>(20)はぐくみの里の春祭り(5月14日)では100名、親子じゃがいも掘り(6月25日)では45名、収穫感謝祭(11月20日)では440名の来場があった。</p> <p>(21)昨年度から引き続きCPサッカー、アンブレティサッカー、ブライインドサッカーの障害者スポーツの大会が開催され、今年度新たに「ソーシャルフットボール」の関東大会を招致し、国内の障害者サッカー団体7団体中4団体の利用となった。また、サッカー以外にも、「Fujitsu Inclusive Sports Festival」や「川崎市 誰でもスポーツ広場」などの開催があり、指定管理者が主催者に協力し、様々な障害者スポーツへの認知、理解促進に貢献した。</p>					
分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適正な人員配置	22 必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	3	2.4
	連絡・連携体制	23 定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	2	3	1.2
	再委託管理	24 再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	2	3	1.2
	担当者のスキルアップ	25 業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	3	2.4
	安全・安心への取組	26 事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	2	4	1.6
	コンプライアンス	27 個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	2	3	1.2
	<p>(評価の理由)</p> <p>(22)人員は、計画通りに適切に配置されている。</p> <p>(23)所管課との連絡・連携については、月例報告時に打ち合わせを行うとともに、随時連絡を行っているが、調査事項への回答が遅れる事例が複数回あった。</p> <p>(24)再委託先との連携調整は適宜・適切に行われている。</p> <p>(25)全スタッフが救命講習を受講した。防火管理者が責任者となり、スタッフ防災訓練を実施した。</p> <p>(25)はぐくみの里の収穫感謝祭では、昨年度の反省を踏まえ、大きな混乱もなく、実施できた。</p> <p>(26)スタジアム周辺19町内会と合同防災訓練を開催するなど適切な安全管理体制を図っている。</p> <p>(26)記念樹が折られる事件が11月及び12月に発生した際には、早急に応急処置などの適切な対応を行った。</p> <p>(26)ヒヤリハットマップを作成し、危険箇所等の情報共有を行っている。</p> <p>(27)個人情報保護について、マニュアルなどを整備し、適切に運用されている。</p>				

適正な施設の維持管理	施設・設備の保守管理	28 安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	3	3.6
	植栽管理	29 樹木や植栽を適正に管理しているか	6	3	3.6
	管理記録の整備・保存	30 業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・記録されているか	4	3	2.4
	清掃業務	31 施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	6	4	4.8
	警備業務	32 施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	33 設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	2	3	1.2
<p>(評価の理由)</p> <p>(28) 定期的・計画的に施設や設備、園内の点検、整備を適切に実施している。トイレなどに不具合が生じた際は、修理を適切に実施した。</p> <p>(29) 倒木対応や草刈り、剪定など樹木や植栽を適正に管理している。市民からの要望にも柔軟に迅速に対応している。</p> <p>(29) 「富士見公園緑地会議」において、ボランティアとはぐくみの里に関する運営について意見交換を行い、春祭りや秋の収穫祭などを実施し、来園者にも好評であった。</p> <p>(30) 点検記録、修繕履歴など適切に整備・記録している。指定管理者で対応可能なものは迅速な対応を行っている。</p> <p>(31) 清掃業務については、利用者の利便性を考慮し各施設の利用されていない時間帯に適宜実施するとともに、毎日2度の巡回清掃のほか、必要に応じて再清掃を行うなど清潔な美観と快適に利用できる環境を維持している。</p> <p>(32) 公園内の犬の放し飼い禁止看板の再設置や、不法投棄禁止やごみの持ち帰りなどのマナー喚起看板、張り紙を設置した。</p> <p>(32) 記念樹の事件発生後に、園内の見廻りを工夫するなど事件の未然防止に努めた。</p> <p>(33) トイレのペーパーホルダーをロック付きのものに交換するなど、利用者が使用する消耗品については、適切に管理・補充を行っている。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	73.2	評価ランク	B
-------	------	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカンフットボールを活用したまちづくりという、本市の施策推進に積極的に貢献するほか、ブラインドサッカー大会をはじめとした障害者スポーツの大会開催に際し日程確保や、スムーズな試合運営に寄与するなど、かわさきパラムーブメントの推進にも貢献した。 ・収入については、大学等への周知によるラクロス等の定期的な利用が好調となるなどして増収となった。支出は広報業務などを社内対応し、電力会社の変更するなどし経費削減を行う一方、委託料や維持管理経費などは適切に支出した。 ・提案事業や自主事業など利用者向けの取組を積極的に実施しており、各利用団体に働きかけ市民向けのクリニック開催を実施した。また、利用者ニーズを適切に把握するためのアンケートを昨年度より実施数を増やしたが、より幅広い意見の収集が必要である。 ・アルティメットやラクロス、高校サッカーなどの大規模大会を招致するほか、ACミランやFCバルセロナのキャンプの招致に成功するなど、指定管理者の強みが発揮され、質の高い企画を実施することで市民への還元を図った。 ・自主事業として、「10・19を中心に川崎球場の歴史を振り返る」を実施し、全国各地から1,000人以上来場者があり、テレビなどのメディアでも紹介され、川崎市や施設の認知度、魅力アップに貢献した。 ・市危機管理室、川崎区役所などと共催で「親子ふれあいキャンプin富士通スタジアム川崎」を開催し、疑似避難生活体験や防災教室、交通安全教室などを実施した。 ・清掃業務については、利用者の利便性を考慮し、各施設の利用されていない時間帯に適宜実施するとともに、毎日2度の巡回清掃のほか、必要に応じて再清掃を行うなど清潔な美観と快適に利用できる環境づくりを適切に維持している。
--

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度について、昨年度に比べ実施数を増やしたが、対面式でのアンケートにより実施数が限られているため、より幅広い意見収集を行う上で、実施数の拡充や自由記載欄を設けること、収集方法の検討などを行う必要がある。 ・利用率の低い時間帯などの利用促進について、引き続き積極的に実施し、より一層の利用率の向上や利用者ニーズの高い自主事業等の実施を期待する。 ・収支について、引き続き質の高い魅力的なイベントを実施し、収益を上げつつ、施設の維持管理に必要な支出は適切に行い、収益の一部で地域還元できるイベント実施などについても検討するよう期待する。 ・AEDの研修などは、消防署で行う救命講習のほか、事務所内でスタッフ全員を対象とした研修などの適切な研修等を実施することが必要である。 ・富士通スタジアム川崎やかwQホールを中心とした維持管理、自主事業が多いため、「緑にふれあえる憩いと語らいの場の提供」の実現に向けて、市民広場やはぐくみの里などの公園全体の賑わい創出や憩いの場となるように取り組む必要がある。 ・はぐくみの里において、市民・ボランティアとの「共同参画」、「協働作業」を促進するため、ボランティア募集等を通じボランティア活動のサポートに取り組むことを期待する。
--